

住基ネット vol.1

いらないニュース

2009年2月20日発行：住基ネットいらない市民の会 連絡先・042-576-1726 あべ

声明文

総務大臣 鳩山邦夫 殿
東京都知事 石原慎太郎 殿
国立市長 関口博 殿

私たちは、国立市の住民基本台帳ネットワークシステム（以下住基ネット）の接続に反対しています。現在の切断状態を保持することを求めます。

住基ネットは、国民の情報を政府が一元管理することを目的とした、大変に危なっかしい代物です。当初から懸念されたとおり、全国の7市町で55万件に上る情報の流出があるなど不祥事が多く発生しています。住基カードも全国で人口の2%しか発行されていません。つまり、予算ばかりかかってほとんど役に立たないものが住基ネットなのです。

ITハコモノとして巨額な予算をかけて作りあげられた住基ネットは、システムも、ルールも十分に練りこまれたものではありません。実際に運用する自治体側にも、セキュリティ認識やスキルの不足が立ち上げ当初からつきまっています。検索機能や文字コードなどにも大きな問題があります。

このような住基ネットを切断することで、国立市は数千万円の無駄な支出をしないで済んでいるのです。市民の個人情報を守り、税金の無駄をなくすために、住基ネットは接続しない方がよいのです。

さらに政府は、住基カードと社会保障カードとの一体化を勝手にどんどん進めています。年金手帳や健康保険証を1枚のカードで済ますのですから、個人の医療情報、労働や年金の履歴が全て集中管理されることとなります。その情報流出によるダメージは、住基ネット単体より何十倍も大きなものとなるのが恐れられています。日本医師会や日本弁護士連合会など多くの団体がすでに反対を表明していますが、私たちもこの社保カードとの一体化構想に強く反対しています。

国立市は住基ネットへの接続をしないでください。また、政府はいたずらに是正要求を出すなど、自治体の裁量である自治事務に介入しないでください。

私たちは11桁の番号で管理されたくはありません。国立市民として住基ネットの切断を支持します。

住基ネットいらない市民の会

賛同者

阿部ひろみ、家坂平人、石原みき子、石丸偉文、大橋奈紀子、佐々木茂樹、館野公一、中村優子、中西景子、松岡京子、松岡勉（50音順・2月15日現在）

便利なものは危険

住基ネットは今後、社会保障カードと一体化させて、年金や介護保険、医療、さらにはキャッシュカードの機能までもたせる方向で準備が進んでいます。これはとても便利である一方で、万一トラブルがあったときには大変危険なことになります。インターネットに名簿や機密情報が流出したという事件がときどき報道されますが、どんなに完璧なシステムを作っても人間がやる仕事には必ずミスが起こります。そのリスクを考えれば、あらゆる個人情報を集中するようなものは作らないことです。

一元管理して大丈夫？

国が進めていることは、全国民と全外国人に統一の番号をふりあて、一元管理しようということです。とても効率的に見えますが、万一この管理から外れた人は、社会保障や医療は受けられないということにもなりかねません。国民総背番号制が進んでいる北欧の福祉国家では、国家を監視する制度も厳格で、それでも根強い批判があるということです。

住基ネットは金食い虫

住基ネットの計画が進められる背景にはIT利権があります。導入に400億円、維持のためにその後毎年200億円というこの公共事業は、寡占状態の巨大IT産業4社とその関連企業に利益をもたらします。メンテナンスだけでなく何年かごとに新システム導入、機械の入れ替えとなるのは目に見えています。財政をどうやって建て直すかという議論をしている国立市にそんな余裕があるはずありません。

地方分権だから罰則もありません。

総務省が東京都に、国立市への住基ネット接続の是正要求をするよう指示したと報道されました。政権交代が起きる前に、とでもいうのでしょうか。「是正要求」は2000年にできた地方分権法に基づくものですが、本来この法律の趣旨は、国と地方は対等な関係だということだったはずで、だから罰則規定もありません。国立市と矢祭町を住基ネットにつなぐのではなく、他の市町村も、住民の真の利益を考えて離脱するべきだと、私たちは考えます。

住基ネット、国立市はつながなくて大丈夫なの？

Q1 つないでないのは国立市と矢祭町（やまつり・福島県）だけでしょ。国のいうことをきかないなんて、いけないんじゃないの？

A1 つなぐ、つながないは区市町村が判断すること。住基ネットの本当の目的は、国による全国民の情報一元管理です。今は6情報（氏名、住所、生年月日、性別、住民票コード、転居などの変更情報）だけが登録されていますが、年金や介護保険、健康保険証の統合も準備が始まっています。自分の年金や銀行口座、健康状態まですべて国が知るところとなり、やがてその他の情報も入れることになるのです。しかも情報もまれて犯罪につかわれたりしたら…。恐ろしいと思いませんか。

私たちは国のやることでも「だめなものだめ」と言っているのです。

Q2 住基ネットにつながなくて、国立市民は何か損をしてるんじゃないの？

A2 住基ネットをつないでも何の得もないのだから、つながなくても損もしません。国は、役所の書類がインターネットで申し込めるとか、国税を電子申告すれば優遇すると言いますが、「住基カード」作成にも、それを使った申し込みや申告にも、利用者一人一人にたいへんな手間と費用がかかるのです。年金の現況届がお年寄りの負担になっていることは、別の安全な方法で解決しなければいけないと思います。

国立市民は、住基ネット切断により、情報漏洩の危険をまぬがれ、毎年数百万円の住基ネット維持費をまぬがれているのですから、むしろ得をしているといえるのではないのでしょうか。

YKK(役立たず・危険・金のムダ)の住基ネットはつながなくて正解です。

私たちは国立市に住んでいて良かったと思います。